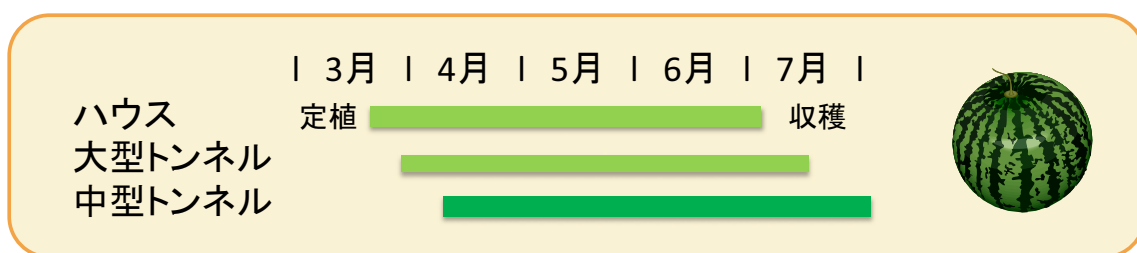


スイカ炭疽病の効果的な防除法

石川県農林総合研究センター
農業試験場

石川県でのスイカ生産（出荷額第1位）



中型トンネル作型



5月下旬～ トンネル除去
梅雨時期に雨にあたるため、炭疽病に罹りやすい

スイカ炭疽病

生産者が最も懸念しているスイカの重要病害



葉の病斑



全滅した圃場

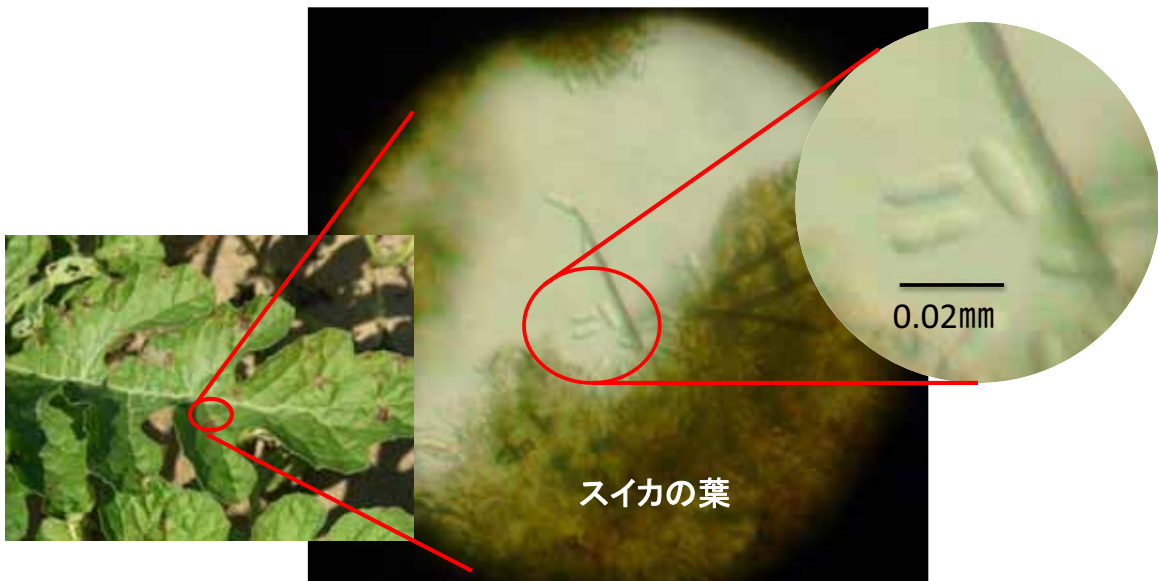


茎の病斑



果実の病斑

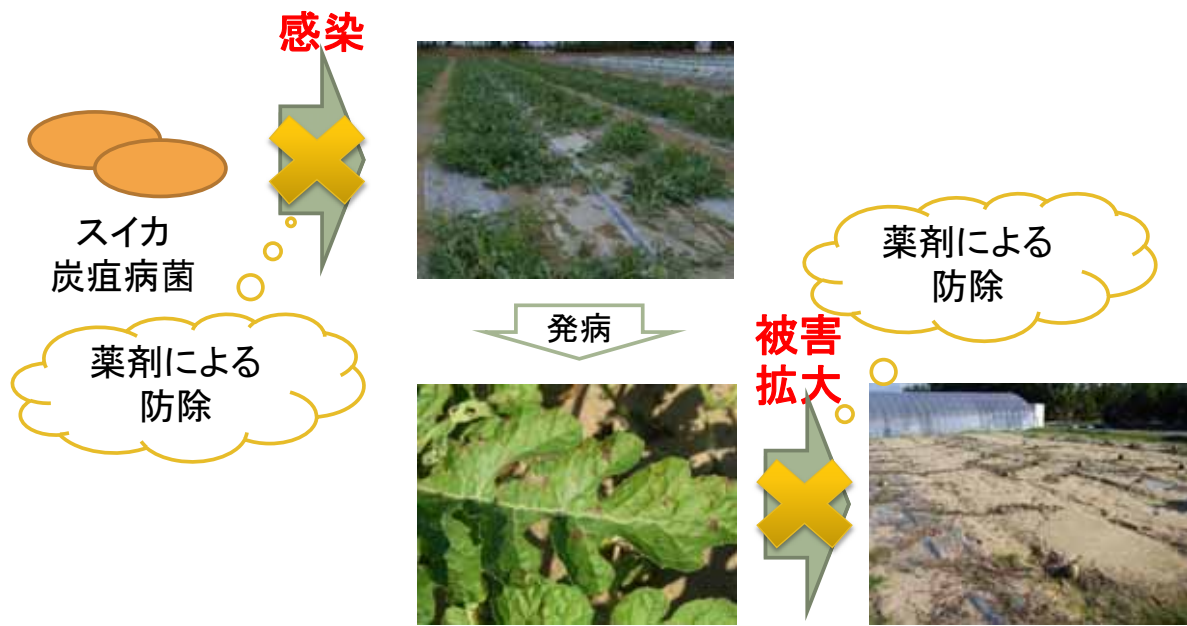
スイカ炭疽病菌



スイカの葉

Colletotrichum orbiculare

スイカ炭疽病の伝染環



発生をゼロに抑えるためには、薬剤の特性に応じた効果的な防除が不可欠

薬剤の特性～予防効果と治療効果～

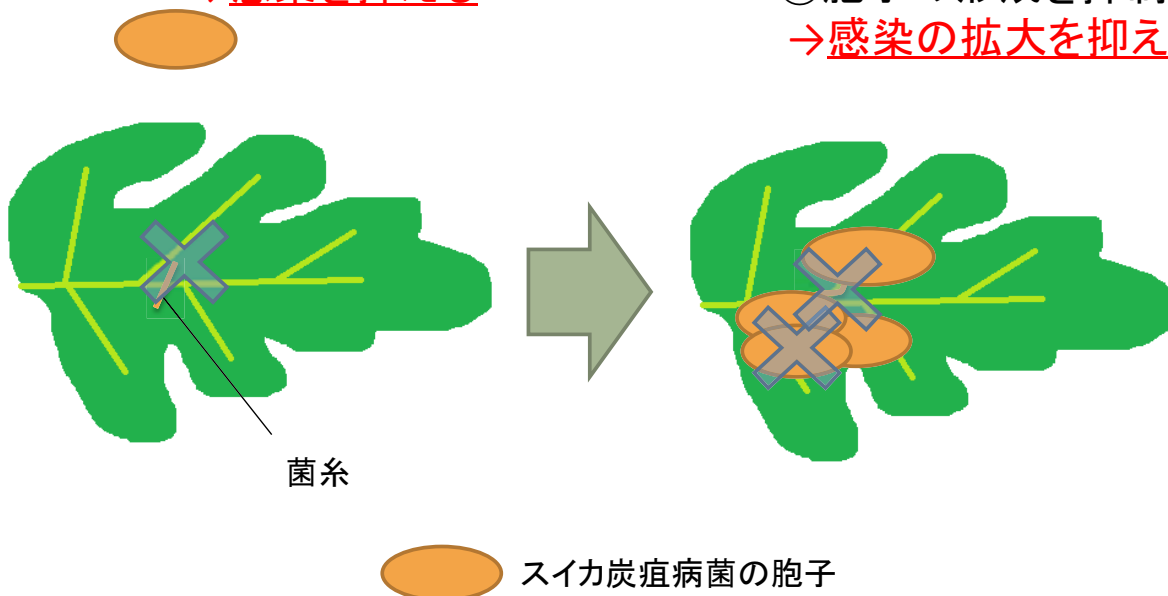
予防効果: 胞子の発芽を抑制

→ 感染を抑える

治療効果: ①菌糸の伸長を抑制

②胞子の形成を抑制

→ 感染の拡大を抑える

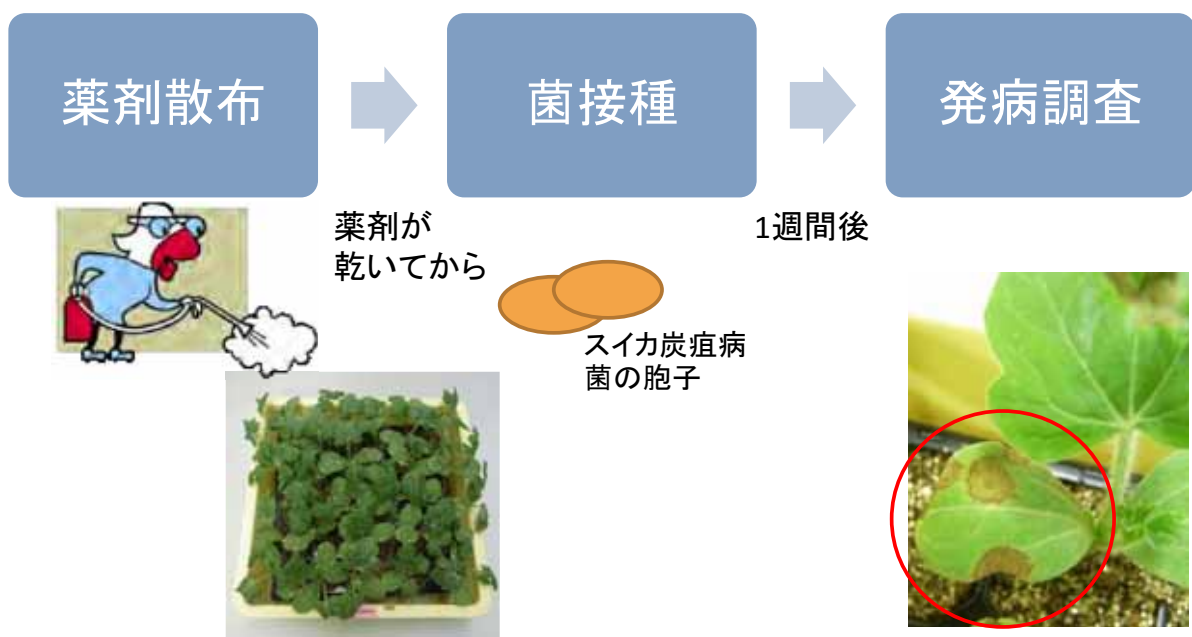


スイカ炭疽病の伝染環

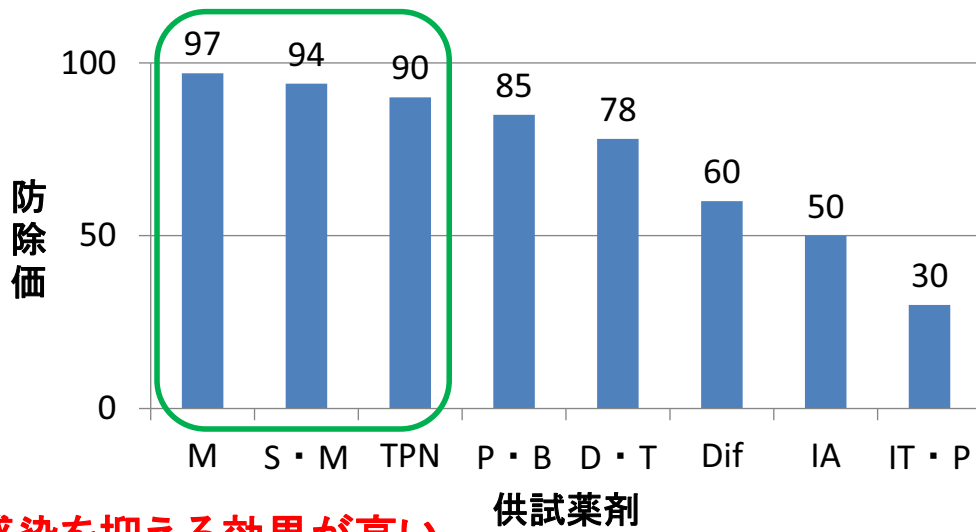


発生をゼロに抑えるためには、薬剤の特性に応じた効果的な防除が不可欠

茎葉での予防効果



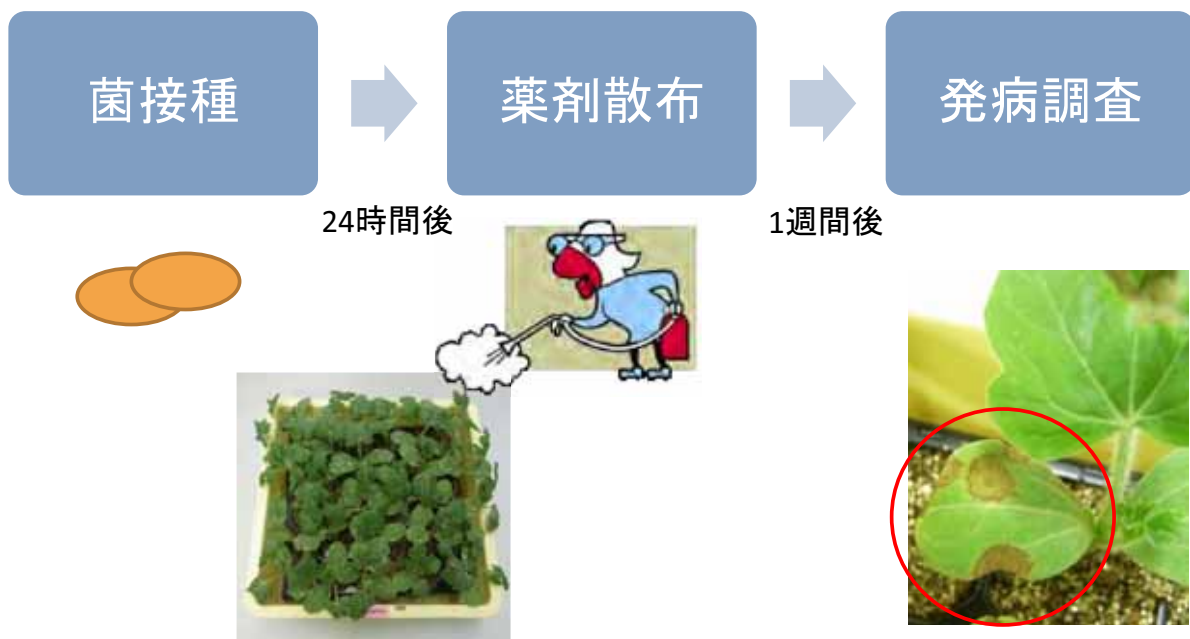
茎葉での予防効果



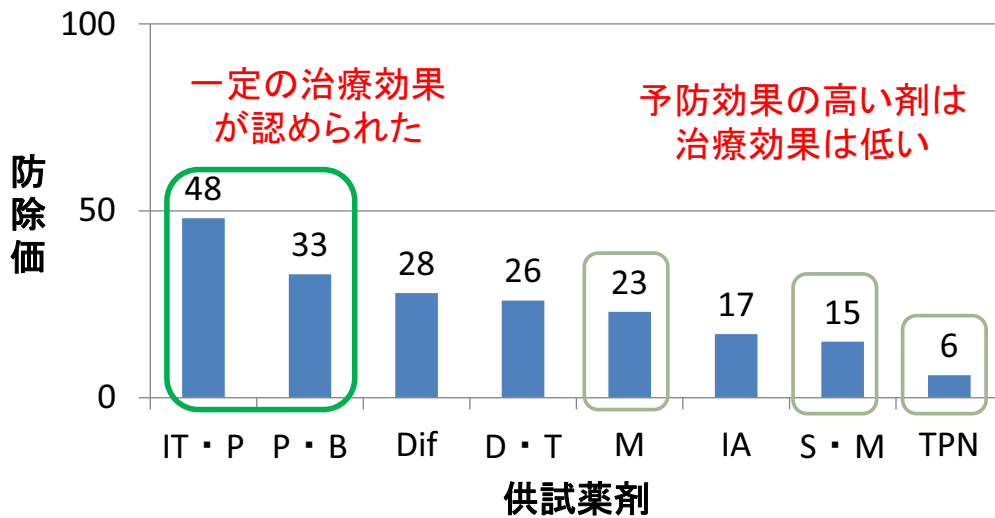
感染を抑える効果が高い

M: マンゼブ水和剤、S・M: シメコナゾール・マンゼブ水和剤、TPN: TPN水和剤、P・B: ピラク
ロストロビン・ボスカリド水和剤、D・T: ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤、Dif:
ジフェノコナゾール水和剤、IA: イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤、IT・P: イミノクタジン酢
酸塩・ポリオキシシン水和剤

茎葉での治療効果



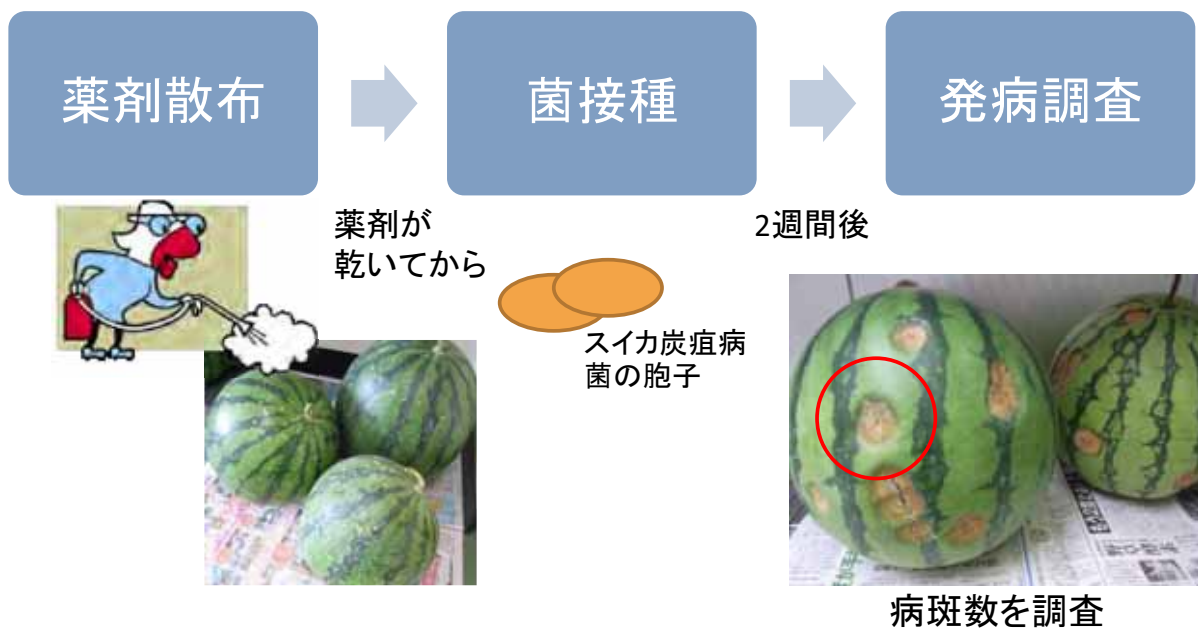
茎葉での治療効果



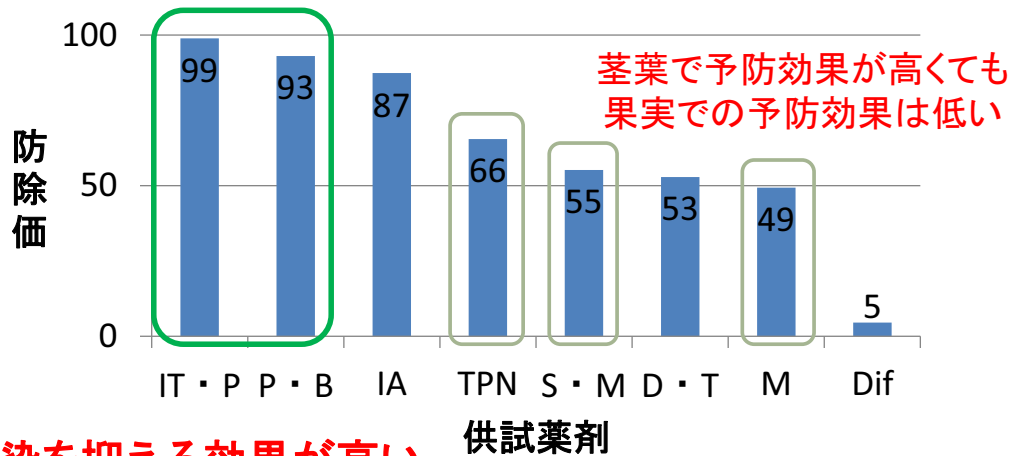
いずれの薬剤も感染の拡大を抑制える効果は低かった

M: マンゼブ水和剤、S・M: シメコナゾール・マンゼブ水和剤、TPN: TPN水和剤、P・B: ピラクトロストロビン・ボスカリド水和剤、D・T: ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤、Dif: ジフェノコナゾール水和剤、IA: イミノクタジナルベシル酸塩水和剤、IT・P: イミノクタジン酢酸塩・ポリオキシシン水和剤

果実での予防効果



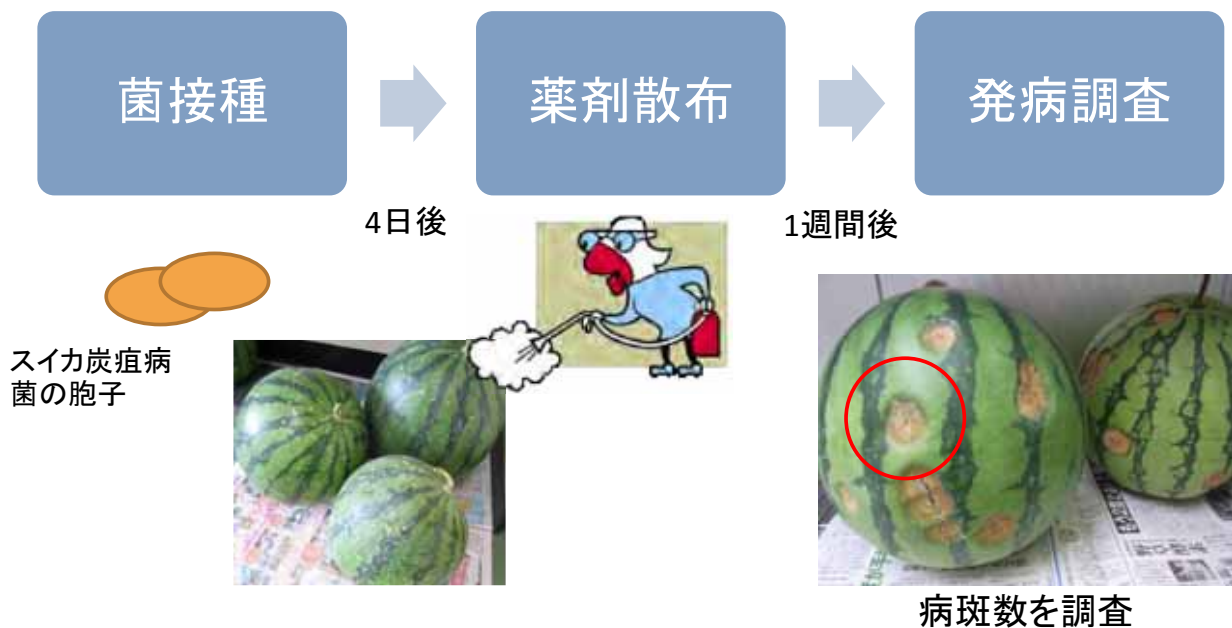
果実での予防効果



感染を抑える効果が高い
この2剤は茎葉での治療効果も高い

M: マンゼブ水和剤、S・M: シメコナゾール・マンゼブ水和剤、TPN: TPN水和剤、P・B: ピラクロストロビン・ボスカリド水和剤、D・T: ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤、Dif: ジフェノコナゾール水和剤、IA: イミノクタジナルベシル酸塩水和剤、IT・P: イミノクタジン酢酸塩・ポリオキシシン水和剤

果実での治療効果

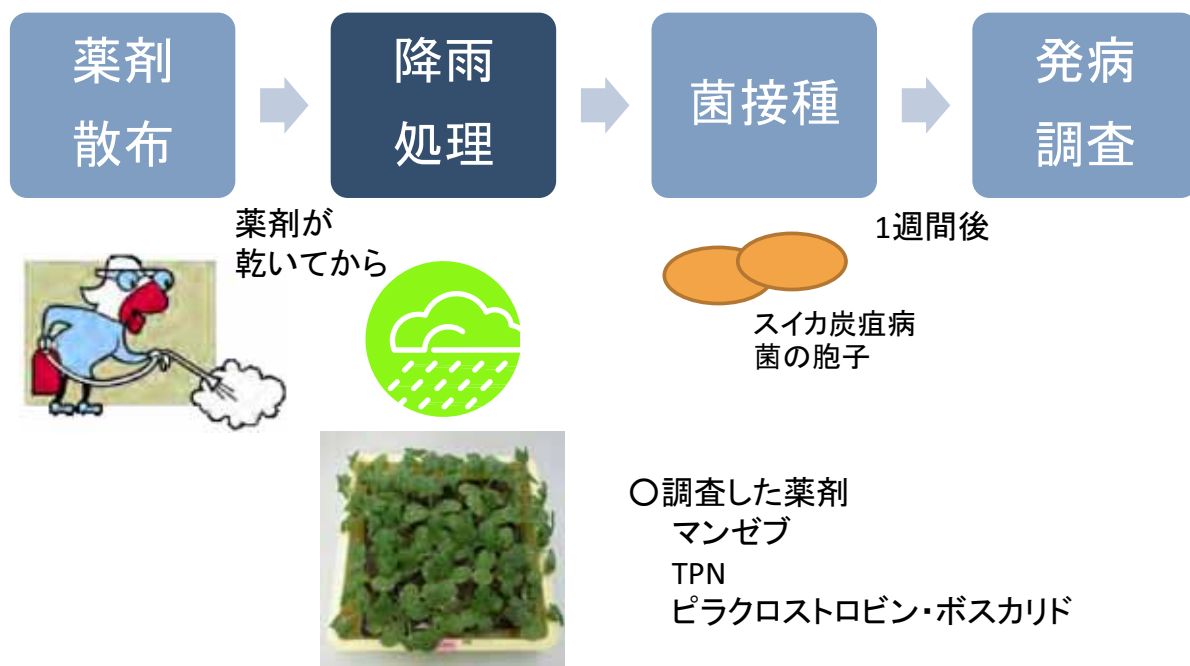


いずれの薬剤も果実での治療効果は認められなかった

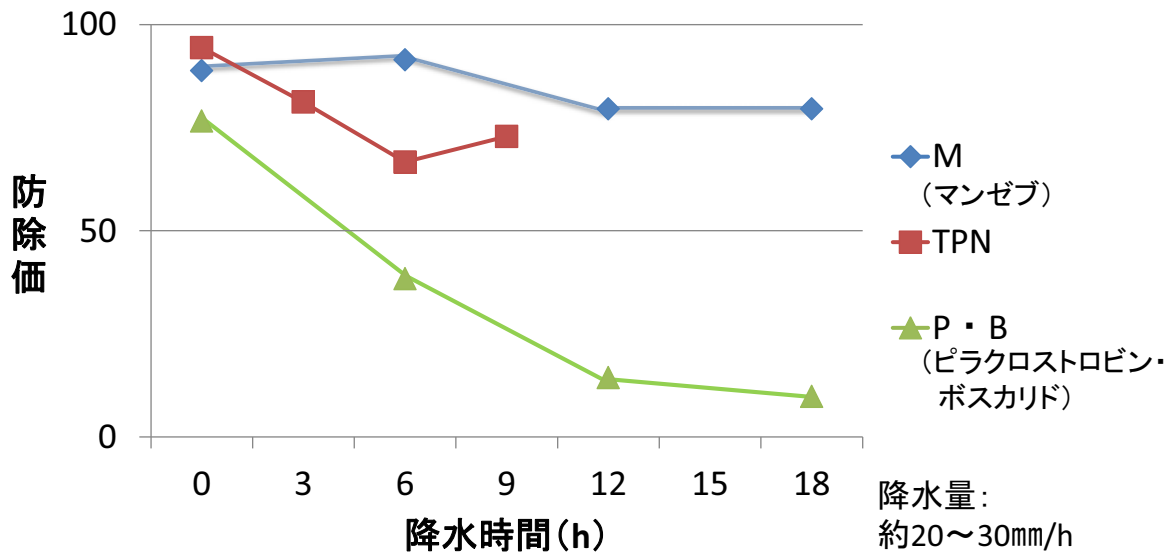
まとめ

	予防効果の高い薬剤	治療効果の認められる薬剤
茎葉	マンゼブ TPN シメコナゾール・マンゼブ 古い剤でも 効果が高い	イミノクタジン酢酸塩・ポリオキシシン ピラクロストロビン・ボスカリド この2剤は 果実での予防 効果も高い
果実	イミノクタジン酢酸塩・ポリオキシシン ピラクロストロビン・ボスカリド	なし

予防剤の耐雨性



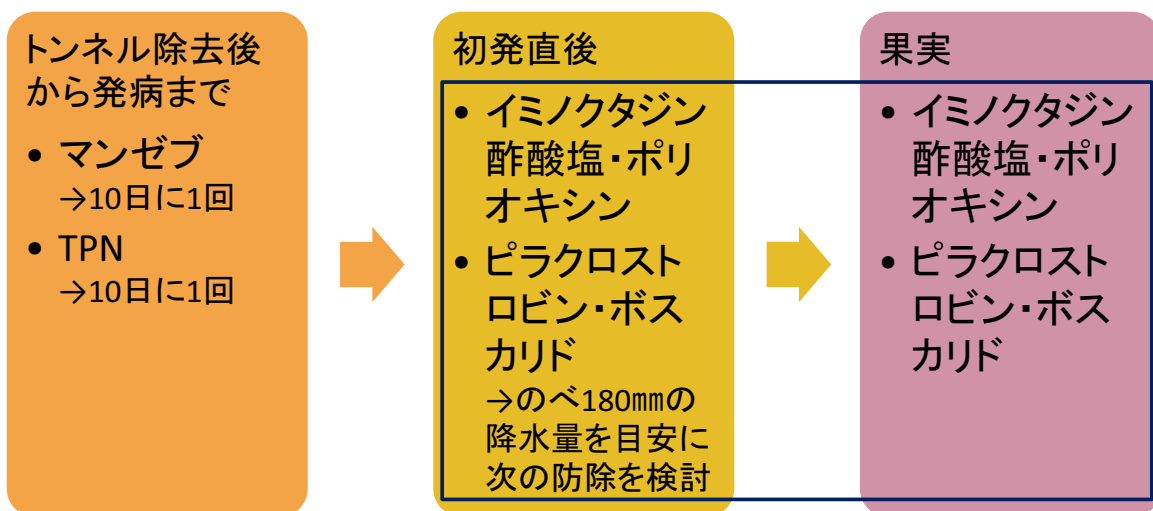
降雨による防除効果の低下



マンゼブやTPNは耐雨性が高い

ピラクロストロビン・ボスカリドは降雨により防除効果が低下し、のべ180mmの雨で効果が半減する

スイカ炭疽病の効果的な防除法



ただし、ピラクロストロビン・ボスカリドは耐性菌の発達する恐れがあるため、蔓延後は使用しない

基本的には、効果の高い予防剤のローテーション防除で発生を抑える